

1 実施日時 令和3年11月17日(水)
10:00~11:45(第2、3限目)

2 目的

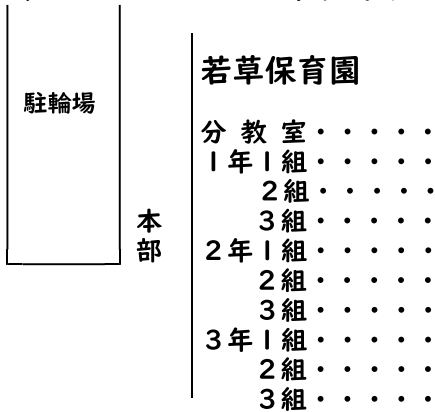
- (1) 緊急地震速報の仕組みを理解させる。
- (2) 緊急地震速報が出た際に自ら命を守るためにはどうすればよいか考え、正しい避難の行動を身につける。
- (3) 生徒一人一人の防災意識の向上と地震発生時における事故の防止を図る。
- (4) 近隣の自治会や保育園と連携して、地震等の災害発生時の対応に備える。
- (5) 生徒は災害発生時の避難方法及び経路を確認しながらグラウンドに避難し、その後保育園児や近隣住人の避難誘導を行う。
- (6) 近隣の自治会や保育園と連携することで、生徒の社会貢献への意識を高める。

3 訓練の概要

- (1) 震度6強を想定した避難訓練を実施する。
- (2) 生徒は授業担当者の誘導により教室からグラウンドに避難する。
- (3) 授業担当者以外の職員は、トイレ等の空き部屋を確認しながら避難する。
- (4) 集合隊形に整列後点呼を実施し、生徒及び職員全員の無事を確認する。
- (5) 第3学年の生徒及び職員は、南門(校長官舎入口)で地域住民の避難誘導を行う。
- (6) 第2学年の生徒及び職員は、正門で園児や地域住民の避難誘導を行う。
- (7) 第1学年の生徒及び職員は、北門(分教室横)で地域住民の避難誘導を行う。
- (8) 実際の消火器を用いた消火訓練を実施する(生徒及び職員、近隣の方々)
- (9) 避難訓練に対する講評および防災に関する講話を聞く。
- (10) 訓練終了後、各教室で訓練の振り返りを行い、災害時の対応等について考えさせる。

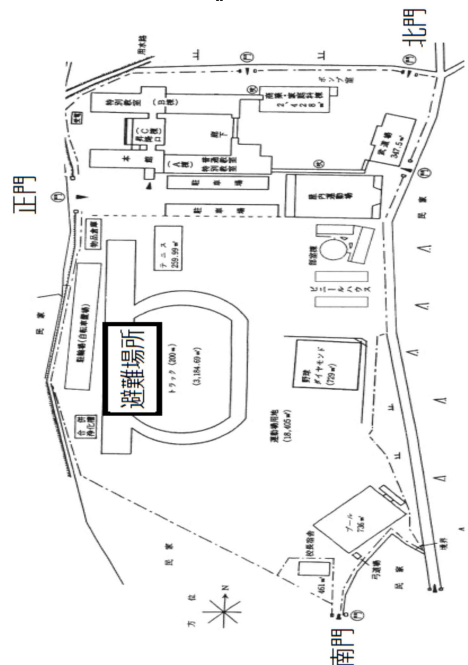
4 集合隊形 ※ 各クラスとも名簿順に一直列に整列する

(1) グラウンドでの集合隊形



(2) 雨天時

- ・高校と分教室の生徒職員で訓練を実施する。
- ・避難場所を体育館とする
- ・体育館で集合点呼後、防災教室(DVD視聴)



5 避難訓練の流れと注意点

(1) 10:00 地震発生(3分程度の放送)

(2) 教室での避難行動

① 校内放送で「緊急地震速報です」というアナウンスが流れたら、直ちに身を守る避難行動をとる。

※ 身を守る避難行動 ※揺れは3分ほど続く
「姿勢を低くする」→「机の下に潜る」→「机の脚を持って頭や体を守る」

② 「グラウンドに避難してください」というアナウンスが流れたら、授業担当者が先導してグラウンドへの避難を開始する。

※ 雨天等の場合は、体育館に避難する。

(3) グラウンドへの避難

① 放送終了後、避難開始(スリッパのまま外に出てもかまわない)。

※ 出席簿を忘れないこと。東側の山は斜面崩壊の可能性があるため、西側の階段を利用する。また、渡り廊下は使用しない。

② 避難中は無言で移動する。校舎を出たら駆け足で駐輪場前に移動し、整列する。

③ 授業担当者以外の職員は、手分けしてトイレ等を確認し、生徒を誘導しながらグラウンドに避難する(8 確認の必要な場所と担当者参照)。

④ 事務室・体育館からはAEDを持ち出す。

(4) 避難者の確認(グラウンドに集合、整列後)

① 学年主任は、点呼前に教頭から「緊急時人員確認シート」を受け取る(点呼時に記入し、教頭に提出)。

② クラスのメンバーが整列したら委員長(クラス代表)は担任に報告する。

③ 担任は速やかに点呼し、学年主任に報告する。

「〇年〇組、在籍()名、欠席()名、現在()名、異常なし」

④ トイレや特別室等を確認した職員は、その場所を教頭に報告する。

⑤ 学年団の職員は、報告後学年の後方に集合。学年主任は学年団の職員を確認する。

⑥ 学年主任は、学年の生徒が確認できた時点で教頭に報告する。続いて職員の点呼が終わったら教頭に「緊急時人員確認シート」を提出する。点呼を確認した教頭は校長へ報告する。

⑦ 学年団以外の職員は、各自事務長に無事を報告(事務長→教頭→校長)。

(5) 近隣住民の避難誘導

① 2年生及び2学年職員は、若草保育園の職員からの指示を受け、園児の避難誘導を補助する(職員同士で打ち合わせして、生徒に対する指示は本校職員が行う)。

② 1年生及び1学年職員は、北門からの避難住民を避難場所に誘導、整列させる。

③ 3年生及び3学年職員は、南門からの避難住民を避難場所に誘導、整列させる。

(6) 避難者名簿の作成

① 生徒の点呼終了後、各クラス代議員を集め、名簿作成を指示(避難誘導班長)

② 整列後、避難してこられた方々から名前等を聞いて、避難者名簿を作成

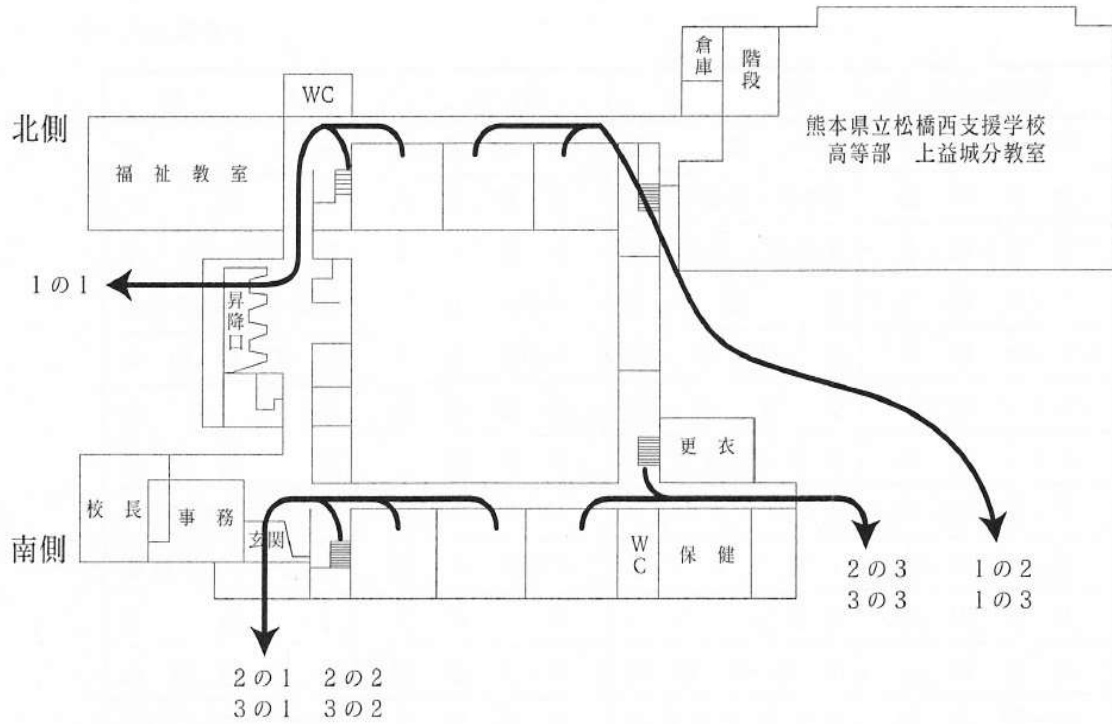
③ 名簿ができたなら、(避難誘導班長)に提出→校長(本部長)に提出

退避の道順は次のとおりとする。（原則）

- | | | |
|-------------|---------|------|
| 1の1 | 北校舎西側階段 | 西昇降口 |
| 2の1・2、3の1・2 | 南校舎西側階段 | 玄関 |
| 1の2・3 | 北校舎東側階段 | 東昇降口 |
| 2の3、3の3 | 南校舎東側階段 | 東昇降口 |

運動場西側の
自転車置き場前
に避難。

※災害発生場所により、最寄りの経路を避難する。



(7) 消火器を使った消火訓練

① 消火器の取り扱いについての説明（業者）

② 消火訓練（業者による指導）

生徒3名（各学年1名ずつ）、職員1名、分教室から生徒1名、職員1名
保育園から1名

6 全体集合時のプログラム（司会：総務 防災係）

(1) 学校長あいさつ

(2) 講評(甲佐町役場)

(3) まとめ(防災主任)

(4) 連絡・解散

① スリッパで校舎から出た生徒は、洗い場（生徒昇降口横）でスリッパを洗って雑巾で拭いてから校舎に入る。

7 訓練終了後の振り返り

全体会が終わったら、担任・副担任の指導の下、教室で今回の訓練について振り返り、災害が発生したときの対応や災害に備えることの大切さを考えさせる。

(1) 今回の訓練についての振り返り

① 今回の訓練の感想・気づいたことなどを記入し、発表する。

② 何人か指名して発表させ、クラスで共有する。

(2) 生徒それぞれの災害に対する対応

① 登下校のルートの中で災害時に危険な箇所を書き上げる。

② 災害時にどのようにして登下校するのかをまとめさせる。

(3) 震災に備える

① チェックリストを用いて、災害に対する備えを確認する。

② 災害時の家族との連絡方法や待ち合わせ場所など、家族で話し合っただけ決めたことをまとめる。

8 確認の必要な場所と担当者

※ 学年会等で事前に確認・報告を行う担当者を割り振っておくこと。

(1) 1年部・・・B棟・C棟

B棟1階 福祉教室・WC・家庭看護室・講義室・生徒会室

B棟2階 理科第2実験室・準備室・WC・教室（1組・2組・3組）

B棟3階 理科実験室・準備室・WC・理科倉庫・学習室（C・D）

C棟1階 小会議室・身障者WC・職員WC・売店

C棟2階 進路指導室・生徒指導室・社会科準備室・生徒相談室

(2) 2年部・・・C棟（本館）、商業・家庭科棟

1階 校長室・事務室

2階 職員室・会議室・

被服室・準備室・調理教室・WC・視聴覚室第1・2視聴覚室

3階 マーケティング室・準備室・応接実践室・パソコン室2・WC・パソコン室1・総合実践室

(3) 3年部…A棟

- 1階 学習室 (A・個別学習・B)・WC・保健室・更衣室
- 2階 教室 (1組・2組・3組)・WC・音楽室
- 3階 図書室・教室 (1組・2組・3組)・WC・美術教室

9 準備物及び職員の役割分担

- (1) 放送…地震発生の放送を流す ()
- (2) 生徒の誘導…各授業担当者
- (3) 訓練開始から集合・点呼完了までの計時…総務 ()
- (4) 「緊急時人員確認シート」の準備…総務 ()
- (5) 記録…写真撮影 ()
- (6) AEDの持ち出し…事務 ()、体育 ()
- (7) 救急バッグの持ち出し…養護教諭 ()
- (8) 雑巾の準備…総務部で用意し、洗い場に配置する。
片付けは各クラスの保健環境美化委員が行う。
- (9) 消火器による消火訓練
3年生・2年生・1年生各1名、職員1名
分教室生徒・職員1名、保育園1名

10 学校災害対策本部の設置と職員の動き

災害が発生した際には、避難が終わった後に対策本部を設置する。また、職員は校務分掌ごとに班分けし、避難後の業務を分担する。

(1) 対策本部

- ① 本部長：校長
- ② 副本部長：教頭、事務長
- ③ 本部員：防災主任、各班長

(2) 防災班分け

- | | | |
|---------------------|-------------|------------|
| ① A班 (安否確認・保護者連絡) | 班長 (教務主任) | 班員 (教務部) |
| ② B班 (救急医療・救護) | 班長 (保健主事) | 班員 (総務部) |
| ③ C班 (消火・安全点検・応急復旧) | 班長 (生徒指導主事) | 班員 (生徒指導部) |
| ④ D班 (避難誘導・避難所協力) | 班長 (進路指導主事) | 班員 (進路指導部) |
| ⑤ E班 (学校管理・渉外) | 班長 (事務部代表) | 班員 (事務部) |